

地球温暖化対策実施状況報告書

2019年 7月 31日

（報告先）
横浜市長

住所 東京都渋谷区神南1-10-1

氏名 株式会社ドトールコーヒー
代表取締役社長 星野 正則

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	株式会社ドトールコーヒー 代表取締役社長 星野 正則				
事業者の主たる 事業所の所在地	東京都渋谷区神南1-10-1				
主たる事業の業種	大分類	I 卸売・小売業			
	中分類	58 飲食料品小売業			
該当する 事業者の要件	<input type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input checked="" type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量	1,473	kl	自動車の台数	台

2 計画期間及び実施年度

計画期間	2016	年度～	2018	年度	実施年度	2018	年度
------	------	-----	------	----	------	------	----

3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

[基本方針]	
1 生産、製造からサービス提供後までの事業活動において、省エネルギー、クリーンエネルギーの使用を推進します。	
2 廃棄物の分別の徹底、減量、リサイクルを推進します。	
3 商品開発において、地球環境との共生を図り、持続可能な商品調達を推進する。	
4 環境に関する法規制を守り、情報を適切に開示して、環境活動を推進するコミュニケーションを図ります。	
[主要なエネルギー使用設備の更新等の検討]	
①更新の対象となる主要なエネルギー使用設備 LED照明、省エネ厨房機器	
②上記①の設備を選択した理由 コストを抑えて効果が出し易いため、推進しています。	
③設備更新スケジュール	平成28年～平成30年

4 推進体制

別途参照

--	--	--

5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	株式会社ドトールコーヒ 総務部総務課
	所在地	東京都渋谷区神南1-10-1
	閲覧可能時間	平日（月～金）10：00～17：00
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (2015年度)	基準排出量	2,989	t-CO ₂				基準原単位	0.38	t-CO ₂ /m ²
	調整後	2,936	t-CO ₂				目標原単位	0.37	t-CO ₂ /m ²
目標年度 (2018年度)	目標排出量	2,822	t-CO ₂	削減率	5.6%	削減率	3.2%		
排出の抑制に係る 目標の設定の考え方	二酸化炭素排出量の多い事業所の中から、照明設備機器が10年以上経っている事業所より順次改善に取り組んでいく								
事業者全体としての 目標等									
第一年度 (2016年度)	排出量	2,920	t-CO ₂	削減率	2.3%	排出原単位	0.37	t-CO ₂ /m ²	
	調整後	2,840	t-CO ₂	削減率	3.3%		削減率	2.6%	
目標等の達成状況 及び説明	1. 省エネ新規店1店オープン及び省エネ改装7店を実施し、古い2店を閉店してエネルギー削減に努めた結果、基準排出量の2.3%削減及び排出原単位の2.6%削減ができました。								
第二年度 (2017年度)	排出量	2,972	t-CO ₂	削減率	0.6%	排出原単位	0.38	t-CO ₂ /m ²	
	調整後	2,792	t-CO ₂	削減率	4.9%		削減率	0.0%	
目標等の達成状況 及び説明	1. 省エネ新規店2店オープン及び省エネ改装1店を実施し、エネルギー削減に努めた結果、基準年度調整後排出量の5.0%削減ができました。								
第三年度 (2018年度)	排出量	2,886	t-CO ₂	削減率	3.4%	排出原単位	0.35	t-CO ₂ /m ²	
	調整後	2,646	t-CO ₂	削減率	9.9%		削減率	7.9%	
目標等の達成状況 及び説明	1. 省エネ新規店3店オープン及び省エネ改装4店を実施し、エネルギー削減に努めた結果、基準年度調整後排出量の9.9%削減ができました。								
計画期間全体の排出 状況に関する説明	計画期間の対策としては、既存12店の省エネ照明改装と新規6店の省エネ機器の導入を推進してまいりました。								

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 (年度)	基準排出量		t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /	
	調整後						t-CO ₂ /		
目標年度 (年度)	目標排出量		t-CO ₂	削減率	%	目標原単位	削減率	%	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方									
事業者全体としての目標等									
第一年度 (年度)	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%	
目標等の達成状況及び説明									
第二年度 (年度)	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%	
目標等の達成状況及び説明									
第三年度 (年度)	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%	
目標等の達成状況及び説明									
計画期間全体の排出状況に関する説明									

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計 (t-CO ₂)	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計 (t-CO ₂)	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計 (t-CO ₂)	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計 (t-CO ₂)
3,000k l 以上								
1,500k l 以上 3,000k l 未満								
500k l 以上 1,500k l 未満								
500k l 未満	69	2,989	67	2,920	69	2,972	72	2,886
合計	69	2,989	67	2,920	69	2,972	72	2,886

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数 (台)	排出量の 合計 (t-CO ₂)	台数 (台)	排出量の 合計 (t-CO ₂)	台数 (台)	排出量の 合計 (t-CO ₂)	台数 (台)	排出量の 合計 (t-CO ₂)
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合 (%)		%		%		%		%

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度						第二年度						第三年度									
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況				
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	67/67	—	年度				実施済	69/69	—	年度				実施済	72/72	—	年度		
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	67/67	—	年度				実施済	69/69	—	年度				実施済	72/72	—	年度		
	3	機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	24/67	—	2018年度		改装時に台帳に登録する		実施中	27/69	—	2018年度		改装時に台帳に登録する		実施中	34/72	—	2019年度		改装時に台帳に登録する
	4	照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	24/67	—	2018年度		マニュアルの改善・配布		実施中	27/69	—	2018年度		マニュアルの改善・配布		実施中	34/72	—	2019年度		マニュアルの改善・配布
	5	エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度		個別票対象事業所設定なし		非該当	/	—	年度		個別票対象事業所設定なし		非該当	/	—	年度		個別票対象事業所設定なし
	6	各種図面の整備	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度		個別票対象事業所設定なし		非該当	/	—	年度		個別票対象事業所設定なし		非該当	/	—	年度		個別票対象事業所設定なし
	7	外気導入量の適正管理	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度		個別票対象事業所設定なし		非該当	/	—	年度		個別票対象事業所設定なし		非該当	/	—	年度		個別票対象事業所設定なし
	8	フィルター等の清掃	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度		個別票対象事業所設定なし		非該当	/	—	年度		個別票対象事業所設定なし		非該当	/	—	年度		個別票対象事業所設定なし
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度		個別票対象事業所設定なし		非該当	/	—	年度		個別票対象事業所設定なし		非該当	/	—	年度		個別票対象事業所設定なし
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度		個別票対象事業所設定なし		非該当	/	—	年度		個別票対象事業所設定なし		非該当	/	—	年度		個別票対象事業所設定なし
	11	室内温度の適正管理	事業所	実施中	実施中	24/67	—	2018年度		空調管理自動化		実施中	27/69	—	2018年度		空調管理自動化		実施中	34/72	—	2019年度		空調管理自動化
	12	地下駐車場の換気管理	事業所	非該当	非該当	/	—	年度		地価駐車場設置なし		非該当	/	—	年度		地下駐車場設置なし		非該当	/	—	年度		地下駐車場設置なし
	13	照明設備の高効率化	事業所	実施中	実施中	24/67	—	2018年度		改装計画の立案		実施中	27/69	—	2018年度		改装計画の立案		実施中	34/72	—	2019年度		空調管理自動化
	14	事務所機器の待機電力管理	事業所	実施中	実施中	24/67	—	2018年度		改装計画の立案		実施中	27/69	—	2018年度		改装計画の立案		実施中	34/72	—	2019年度		空調管理自動化
	15	機器性能管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備なし
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備なし
	17	燃焼設備の空気比管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備なし
	18	排出ガス温度の管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備なし
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備なし
	20	工業炉表面の断熱強化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備なし
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備なし
	22	コンプレッサの吸気管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備なし

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度						第二年度						第三年度								
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況			
第3号該当事業者	23	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度				/	—	年度				/	—	年度					
	24	自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度				—	/	年度				—	/	年度					
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度				—	/	年度				—	/	年度					
	26	エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度				/	—	年度				/	—	年度					
	27	自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)	/	—	年度				/	—	年度				/	—	年度					

10 目標対策及び事業者の発意による対策の実施状況

- （注意事項） ・ 対策の効果が重複して計上されない様にご注意ください。
 ・ 燃料・熱・電気等の使用量は、一年間での値に換算して記入してください。
 ・ 記載欄が不足する場合は、横浜市へご連絡ください。

		削減量合計 事業者総排出量		事業者総排出量 (t-CO2)		CO2排出量合計① (t-CO2)		CO2排出量合計② (t-CO2)		削減量合計 (t-CO2)					
		1.35 %		2,886		325.6		286.7		39					
連番	具体的な対策	事業所名	対策の実施年度 (西暦)	実施前				実施後				削減量 □(t-CO2)	投資金額		
				実施前の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量			CO2排出量 (t-CO2)	実施後の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量				CO2排出量 (t-CO2)	
					種別	使用量	単位			種別	使用量				単位
1	照明を高効率LED光源とした	株式会社 ドトール コーヒー	2018	HF蛍光管を使用していた 4店舗	昼間買電	636	千kWh	325.6	LED光源を導入した 4店舗	昼間買電	560	千kWh	286.7	38.9	3,900 千円
															千円
															千円
															千円
															千円

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1		年度		
2		年度		
3		年度		
4		年度		
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	2018年度	横浜市内事業所全部	240	東京電力エナジーパートナー
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	
計画期間内に実施する対策	
第一年度実績	
第二年度実績	
第三年度実績	特に御座いません。

14 実施状況等に対する自己評価

<p>昨年は、予定通り4店舗省エネ改装が出来ました。</p>

株式会社ドトールコーヒー 組織図

2019. 3. 1

